|  |  |
| --- | --- |
| 学校番号 |  |

平成29年度　福祉科

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | 福祉 | 科目 | 社会福祉基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
| 使用教科書 | 「社会福祉基礎」（実教出版） |
| 副教材等 | なし |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

|  |
| --- |
| ○これから地域社会で生活されている人々の「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」について、みなさんと一緒に考えていきましょう。　・社会で起こっている福祉に関する諸問題について、新聞記事、テレビニュース、ｗｅｂ等から興味や関心の幅を広げましょう。・卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって、必要とする基礎的な社会福祉に関する知識や技術を学ぶとともに「福祉の心」も育みます。　・夏季休業期間中等を活用して、自分の興味や関心のある福祉分野（児童・障がい・高齢者など）についてボランティア実習に参加します。 |

2 学習の到達目標

|  |
| --- |
| 社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てることを目標とします。 |

3 学習評価(評価規準と評価方法)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | a.関心・意欲・態度 | b.思考・判断・表現 | c.技能 | d.知識・理解 |
| 観点の趣旨 | 社会福祉に関心をもち、福祉社会に向けた課題に主体的に取り組むとともに、社会福祉に関する幅広い視野と福祉観や社会福祉の向上を図る実践的な態度を身に付けている。 | 日常生活から派生する社会福祉に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 | 社会福祉に関する基礎的な技術を身に付け、福祉に関する諸活動に対応することをめざしてその技術を適切に活用している。 | 現代社会における社会構造の変容や特色について理解し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、社会福祉の意義や役割を理解している。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察ノートやワークシートの記述ボランティア日誌 | ノートやワークシートの記述定期考査等 | ノートやワークシートの記述ボランティア実習定期考査等ボランティア日誌 | 学習状況の観察ノートやワークシートの記述発表定期考査等 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 |

4 学習の活動

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学 期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
| a | b | c | d |
| １ | 生活と福祉 | ・少子高齢化と人口減少社会の到来・地域社会の変化・生活の変化・疾病構造の変化と国民の健康づくり・人の一生と社会福祉 | ○○○ | ○○○ | ○○ | ○○ | ａ:家族や地域の機能と役割の変化、ライフスタイルの変化や健康に関する考え方について関心をもち、生活と福祉について探求しようとしている。ｂ:家庭生活の機能や概要、少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について思考を深め、適切な知識と技術の基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。ｃ:家庭生活の機能や概要、少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。ｄ:家庭生活の機能や概要、少子高齢化の進行と介護の社会化との関連について理解し、社会全体で介護を支える介護の社会化の意義についても理解している。 | 授業観察ノートワークシート発表定期考査 |
| １ | 社会福祉の理念 | ・日本国憲法と社会福祉・現代の福祉理念・社会福祉を支える諸原理 | ○○ | ○ | ○ | ○○ | ａ:日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について関心をもち、諸課題について探究しようとしている。ｂ:日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について思考を深め、自立生活支援へ変化してきた過程や結果を適切に表現している。ｃ: 日本国憲法や社会福祉法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連についての様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。ｄ: 日本国憲法が規定している内容、近年の国際的な福祉の考え方、我が国の社会保障と社会福祉制度の関連について理解している。 | 授業観察ノートワークシート発表定期考査 |
| １・２ | 人間の尊厳と福祉社会の創造 | ・人間としての尊厳・自立生活支援・福祉社会の創造 | ○ | ○○○ | ○ | ○ | ａ:人間の尊厳と自立について関心をもち、日本国憲法などを通して権利擁護の重要性及び利用者自身の意思決定を尊重した自立支援の向上について探究しょうとしている。ｂ: 人間の尊厳と自立について思考を深め、社会福祉と自立生活支援との関わりや利用者の意思決定の尊重について考察し、その過程や結果を適切に表現している。ｃ: 人間の尊厳と自立について関心をもち、日本国憲法などに関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。ｄ: 人間の尊厳と自立について日本国憲法などを通して理解し、利用者自身の意思決定を尊重した自立支援について理解している。 | 授業観察ノート定期考査ボランティア日誌発表 |
| ２ | 子ども家庭福祉 | ・少子化時代の子ども子育て支援・子育て支援と保育・障がいのある子どもの福祉・子どものすこやかな成長と支援・市町村と児童相談所の役割・社会的養護と児童虐待への対応・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉・子どもの権利と子ども家庭福祉 | ○○○○○○ | ○○○ | ○○○ | ○○○○ | ａ:児童家庭福祉と社会福祉サービスについて関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策について探究しようとしている。ｂ: 各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策について思考を深め、知識と技術をもとに判断し、その過程や結果を適切に表現している。ｃ:児童家庭福祉と社会福祉サービスに関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。ｄ: 各制度が生まれてきた社会的背景、社会福祉サービスの現状と課題、人口の減少状況及び子育て支援の考え方や施策など児童家庭福祉と社会福祉サービスについて理解している。 | 授業観察ノートワークシート発表定期考査 |
| ２ | 障がい者福祉 | ・障がい者福祉とは・身体障がい者の現状と課題・身体障がい者福祉の推進・障がい者の生活支援・知的障がい者の現状と課題・知的障がい者の在宅支援と施設の役割・障がい者グループホーム・ケアホーム・発達障がいをめぐる多様な課題と支援・精神保健と精神障がい者・精神障がい者の支援－長期入院から地域生活支援へ・障がい者福祉の今後 | ○○○○○○ | ○○○○○ | ○○○○○○ | ○○○○○ | ａ:障がい者福祉と障がい者自立支援制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの概要と現状について探究しようとしている。ｂ: 各制度の社会的背景、社会福祉サービスの現状と課題について思考を深め判断し、その過程や結果を適切に表現している。ｃ:障がい者福祉と障がい者自立支援制度に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。ｄ: 各制度の社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題など障がい者福祉と障がい者自立支援制度について理解している。 | 授業観察ノートワークシート発表定期考査 |
| ３ | 高齢者福祉 | ・人口の高齢化と高齢者福祉・高齢者の健康保持と社会参加・介護保険制度（１）・介護保険制度（２）・高齢者の在宅サービス（１）・高齢者の在宅サービス（２）・認定症ケア・介護保険施設・老人保健施設その他・高齢者の地域生活を支える各種サービス・高齢者福祉の将来～地域包括ケアの実現へ | ○○○○ | ○○○○○ | ○○○○○○ | ○○○○○○○ | ａ:高齢者福祉と介護保険制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者虐待などの問題について探究しようとしている。ｂ: 各制度の社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題や高齢者虐待などの問題について思考を深め、知識と技術を基に判断し、その過程や結果を適切に表現している。ｃ:高齢者福祉と介護保険制度に関する様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。ｄ: 各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、高齢者虐待など、高齢者福祉と介護保険制度について理解している。 | 授業観察ノートワークシート発表定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　　b:思考・判断・表現

c:技能　　　　　　　　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）

の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けて

いる。